●整備資材班

①[メカ担当]は発電機など機器の運転、調整、燃料管理、電気系統の適正化を図る。
水漏れ事故発生時の対応。

②[避難所担当]は一時避難所の運営及び防災備品の管理をする。

●スタッフ班

防災委員、HIC委員，防火管理者、医療、機械電気等の専門知識のある人、中学高校生の青年隊、一時避難所等ボランティアで構成する。状況に対応しそれぞれの組織下で活動してもらいます。

一時避難所

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

マンション共通の課題ですが、ハイム避難生活最大の弱点はエレベーターです。大地震が起きた時、数日は使用できない状態が想定されます。

①そのなかで、付近の外出から戻っても自力で階段を登って家まで到達出来ない人の為に一時避難所を管理棟地階に作りました。階段昇降機や青年隊の力を借りて自宅に戻れるまでの一時待機場所に過ぎないとの考え方です。

②そのまま一時避難所生活の方を希望する人には対応します。

③長距離を歩いてたどり着いた帰宅困難者の一時休憩、仮眠場所として、管理人の帰宅困難者も利用できます。

④和室の収容人員は一人1．5畳として15人を基本としています。

⑤水、非常食、毛布。日用品の準備があります。利用規則があります。

⑥一時避難所から自宅への移動援護の順番は別途定めます。

新多摩川ハイム管理組合防災会、の位置づけ

①新多摩川ハイム管理組合防災会は多摩区自主防災組織連絡協議会で中野島町会の中の一つの組織として位置づけられています。

②自主防災組織とは、自助と地域住民の共助を基本とし地域住民が協力、連携し自分たちの地域を自分たちで災害から守る為に活動する目的で結成された、行政が推進し応援する組織です。

③避難場所となっている下布田小学校避難所運営会議には理事会から3名が参加しています。

皆さんのご意見、ご提言をお待ちします。
（添付の用紙をご利用下さい）

ハイムだより

発行者　新多摩川ハイム管理組合　川崎市多摩区中野島6－29－7　25期理事会
TEL 044-945-1193　FAX044-945-2316　sintamah@chive.ocn.ne.jp

［防災］特別号
第3回
発行：
２０１４（平成２６）年
３月２０日

新多摩川ハイム　防災マニュアル案「災害時のハイムルールと災害対策本部及びその活動」、皆さんのご意見をお待ちしています。

災害時の本部活動には医療や機械電気などの専門知識のある人が必須です。
大地震への[人的備え]としてそのような方々の事前登録をお願い致します。添付書類をお読み頂き、必要事項をご記入の上赤いポストにご投函のほど宜しくお願い致します。
若い力の中学高校生、本部へ参画していただける人、一時避難所でのお世話をしていただけるボランティアも必要です。災害時にご協力お願い致します。
今回につきましても皆様のご意見ご提言お待ちしております。

ハイム防災会会長代行　西浦啓二

災害時はハイムに住む一人ひとりが主役

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

ハイム防災会は各エントランスの「向こう三軒両隣」をベースとした居住者同士の協力に基づく自主的な組織です。それは避難生活の最小グループであり、いわば縦NAGAYAとも言えます。
一方、本部は状況把握を行って全体を統括し、個別エントランス内だけでは対応が難しい事態に応援解決する組織です。

災害時通信板（A4クリップボード）システムとは

①いつ使用するのか、
揺れが収まり、お隣さん同志の声かけが終わった後、1時間を目途に本部からのスピーカー放送で防災班ごとの「災害時通信板」（以降、通信板という）による災害状況の確認の集約作業を依頼致します。但し停電時は夜間の階段使用は危険なので昼間に実施します。通信板は本部の全体状況把握の手段であり、その後も状況に合わせて継続実施します。

②防災班の呼称は
1、2、5、6、号棟ではエントランス単位が防災班となります。2号棟のBエントランスは、2－B（防災班）と呼称します。3，4号棟では階段ごとの両側の縦系列が防災班になります。その呼称はエントランス符号の次に入口から近い階段順の付番が付け加えられます。4-A－②のように呼称します。但し3－B－④は端の縦一列のみになります。

③誰が行動を起こすのか
防災班に災害時のリーダーを事前には作りません。一人ひとりが主役なのです。但し、放送により管理事務所（本部）に通信板を取りにいく役割は各防災班の1階の奇数の号室にお願いします、1階が不在の場合は2階の奇数の号室にお願いすることになります。

④通信板を回す順番は
まず奇数号室を上へ上へと順番に階上へ手渡し、最上階で偶数号室に手渡していただきます。それからは偶数号室を階下へと進み最後の偶数号室の人が通信板を管理事務所（本部）に返却します。

⑤手渡し先が留守の場合
停電中はドアベルを押しても鳴りません。手渡しを始める放送があった時、出来るだけドアの鍵を開けておいてください。通信板は必ず次の号室のドア開けて呼び出し手渡ししてください。留守宅は通信板が手元にある人が留守覧に〇を記入し次の階に手渡しください。

⑥記入項目は
通信板に記入する内容はイ）同居家族（在宅者と外出者の数）及び来訪者の数、ロ）怪我、体調に関して、ハ）部屋の被害状況、二）助けて欲しいこと、を自分の号室の欄に記入していただきます。

⑦本部が状況把握を集約した段階で、別途定めた順に移動を希望する人に移動援護を行います。

⑧一人暮らしの高齢者で、災害時エレベーターが使用できない時、ハイム内の他号室への一旦移転に移動援護を希望する人は管理室にある所定の事前登録用紙にご記入ください。

災害時のルール

①消防法に基づくハイムの消防計画、の第15条、（火災が発生した場合の行動）で ［火災を発生させた者又は火災を発見した者は、大声で周囲に知らせる事、消防署への通報は火災を発生させた者又は火災の発生を知った者が協力して行うこと。］
［初期消火は、消防隊が到着するまで居住者が協力して行うこと。］と定められています。

万が一、エントランスの部屋で出火があった場合、両隣のエントランスからの横移動による手助けは出来ません。又他エントランス等からの階段を駆け上がっての応援もすぐには期待出来ず間に合いません。 頼りになるのは［向こう三軒両隣］の隣人です。
予め場所確認しておいた消火器に加え、炎の大きさによっては消火栓のホースを使って自分たちで初期消火に努めることしか出来ないと認識し、全員が事前の消防訓練に参加しましょう。

②管理人は監視業務として災害時に次の業務協力を行う、
イ）震度5強の揺れを感じた段階で［お隣さんの同志の安否確認と火の用心を促す］放送をする。
ロ）非常ベル、インターホーンにより異常通報があった場合、その状況内容を放送する。

ハ）火災報知機などで出火が知らされた場合、119番への通報と［応援駆けつけが出来るように出火場所を明確にする］放送をする。

③エレベーターの使用禁止、立ち入り禁止区域の厳守。

④被災時はゴミ出し禁止、許可が出るまで各戸で保管すること。

⑤ハイム外への長期避難の際は 電気、ガス、水道の元栓を閉めてから対策本部にある所定の書類に連絡先等を記入すること。

⑥漏水が起きた場合、災害対策本部は、二次災害を防止する為に解決に必要な部屋の栓を止める事が出来る。

⑦防災備蓄品の内、水、食糧、日用品等は管理棟内の使用目的に限定する。

⑧発電機用の自動車ガソリン燃料、炊き出し材料の持ち寄り要請には積極提供協力をすること。

⑨エレベーターの使用再開はエレベーター会社の現場確認作業が終了した後、管理組合がその判断をする。計画停電時における運転管理は管理組合が担う。

災害時の組織化

1. 災害対策本部の設立

ハイム管理組合使用細則［RB－24］災害発生時初期対応 要領に基づき、
災害対策本部は管理組合役員が担い、スタッフ班の協力を求めることで業務を行う。

①設立の可否判断
震度5強以上の地震が発生した場合、1時間を目途に全役員が管理棟地階に集合し、被害状況を考慮の上、災害対策本部の設置の可否を判断する。設置が必要と判断した時、放送で発表する。

②迅速な災害対策本部組織化の為のルール
駆けつけた理事会役員の中から本部長及び副本部長の2名の就任順位を理事番号順に自動的に決定する。但し災害対策本部体制が整った段階で交代は可能とする。

③本部長、副本部長はその場の理事の中から下記各班のリーダー及び構成員を決める組織化作業をする。

④対策本部は管理棟地階の洋室及び管理室を使用する。停電時対応方法は別途示す。

⑤組織化完成後、放送により、スタッフ班を招集する。

2. 災害対策本部の4つの組織

● 総務情報室；
①災害対策本部長又は副本部長が室長を兼務する。災害情報をもとに対応策の優先順位を決定し指示をする。全体統括と情報収集及び情報共有化機能をもつ。
②全ての防災班と災害時通信板システムにより繋がっており、ハイム災害情報の収集窓口。
③非常用ジーゼル発電機の運転パターンの決定後、整備資材班に運転、停止を指示する。
④スピーカー、回覧板、掲示板等での情報発信。
⑤行政及び下布田小学校避難所との連絡窓口。
⑥必要が生じた場合には居住者名簿による緊急事態発生時の連絡先への連絡。
⑦［HIC担当］インターネットによる行政等の災害情報の収集活動。準備段階ですが、登録希望者限定の災害用メーリングリストにより帰宅困難者も含めての携帯端末へのハイム状況を緊急メールにより発信する。

●救護班；
①救出、救護活動をする。救急車の到着が期待できない時は、スタッフ班の医療関係者の判断で医師の手当てを要する場合には連絡搬送をする。
医療関係者がいない場合はトランシーバーを持って自転車で駆けつけ医師の指示を仰ぐ。
（AEDは管理棟入口、救助工具格納箱、救急箱は管理室中に、担架は非常用倉庫にあります）
② 階段を一人で昇降できない人を階段昇降機と青年隊の力等を借りて移動援護する。